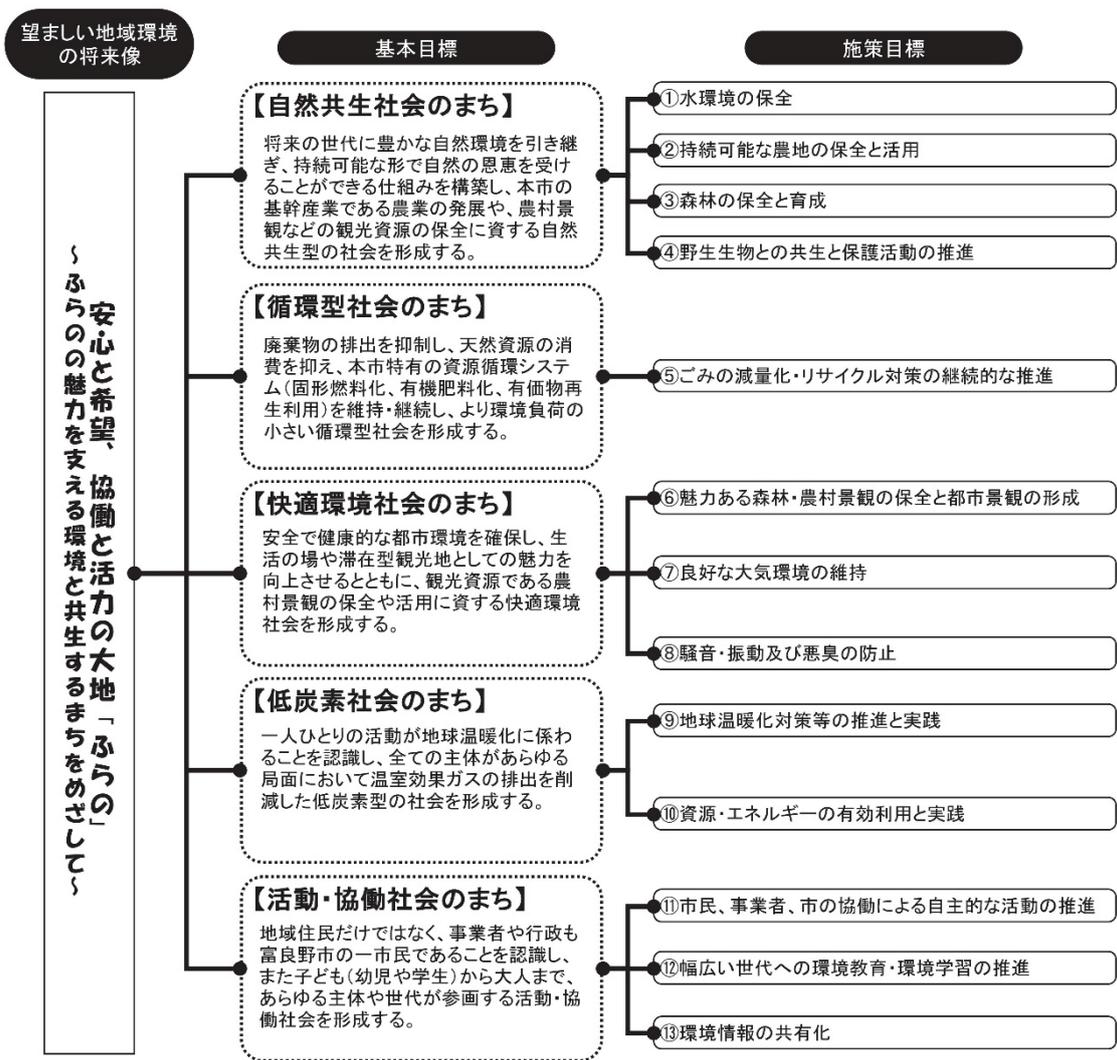


環境指標の達成状況

第二次富良野市環境基本計画では、基本目標、施策目標を下記のように設定しており、基本目標ごとに環境の状況を示す「環境指標」を設けています。

2.2 基本目標と施策の体系

本市の環境基本計画の理念である「望ましい地域環境の将来像」を実現するためには、様々な環境課題に取り組んでいく必要があります。そのため、本計画では、5つの基本的な計画目標を掲げ、さらに計画目標を達成するための施策目標に基づき、施策を展開していきます。



<計画目標と施策の体系図>

図 1：計画の目標と施策の体系

出典：第二次富良野市環境基本計画

(1) 自然共生社会のまち

自然共生社会のまちに関する項目の状況（平成 30 年度時点）については、以下のように整理できます。

○水環境の保全について、「水質環境基準達成率」、「水洗化率」ともに目標を達成していません。

●持続可能な農地の保全と活用について、「市内の JGAP 認定件数」は 7 件と、目標の 10 件に到達していませんが、「食の安全安心等に関する研修会受講者数」は 263 人と、目標の 150 人を大きく上回っています。

●森林の保全と育成について、「市有林面積」は増加しているものの 837ha と、目標の 840ha に到達していません。

●野生生物との共生と保護活動の推進について、「農業活動における野生鳥獣被害面積」、「農業活動における野生鳥獣被害額」ともに、目標を達成できていない状況となっています。

表 1：環境指標の推移と達成状況（自然共生社会のまち）

		実績値										目標値・年		達成状況	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(単位)			
① 水環境の保全	水質環境基準達成率			100%	0%	100%	100%	100%	100%			100%	R2年度まで 毎年度	%	100.0%
	水洗化率				95.1%	95.2%	95.5%	95.6%	95.9%			95.61%	R2年度	%	100.3%
② 持続可能な農地の保全と活用	市内のJGAP（農業生産工程管理）認定件数			6	5	5	5	6	7			10	H30年度	農場	70.0%
	食の安全安心等に関する研修会受講者数				117	258	536	184	263			150	R2年度	人	175.3%
③ 森林の保全と育成	市有林面積				834	836	837	837	837			840	R2年度	ha	99.6%
④ 野生生物との共生と保護活動の推進	農業活動における野生鳥獣被害面積		380	385	339	306	299	387	433			237	R2年度	ha	54.7%
	農業活動における野生鳥獣被害額				81,579	88,276	79,751	117,873	159,414			57,104	R2年度	千円	35.8%

※青=達成 赤=未達成

①水環境の保全

1) 河川のBOD

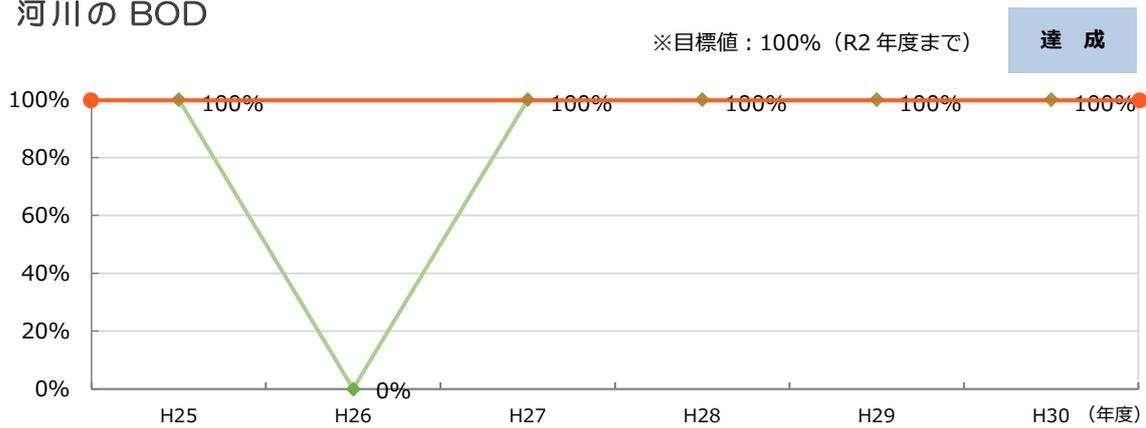


図 2：河川のBOD 基準達成率の推移

出典：平成 30 年度～令和元年度 富良野市環境白書

2) 水洗化人口・率

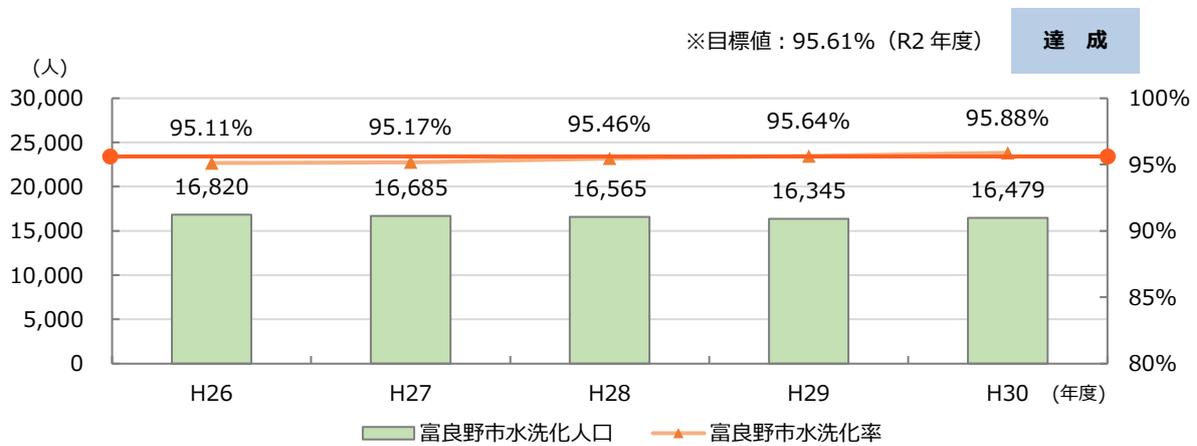


図 3：富良野市の水洗化人口・率

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

②持続可能な農地の保全と活用

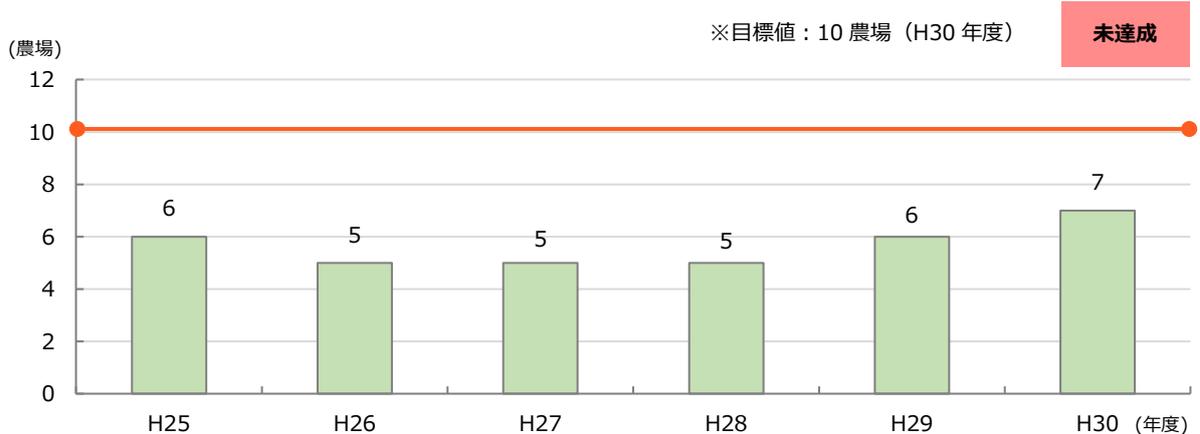


図 4：JGAP 認証農場数の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

③食の安全安心等に関する研修会受講者数

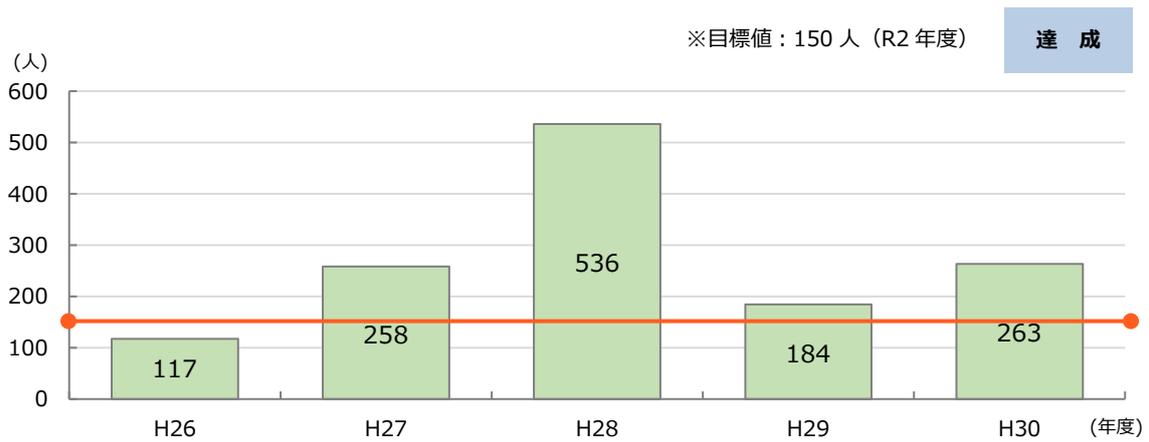


図 5：食の安全安心等に関する研修会受講者数の推移

出典：第 5 次富良野市総合計画「後期基本計画」 進行管理表（成果指標達成度一覧）

④森林の保全と育成

1) 市有林面積（環境白書出典）

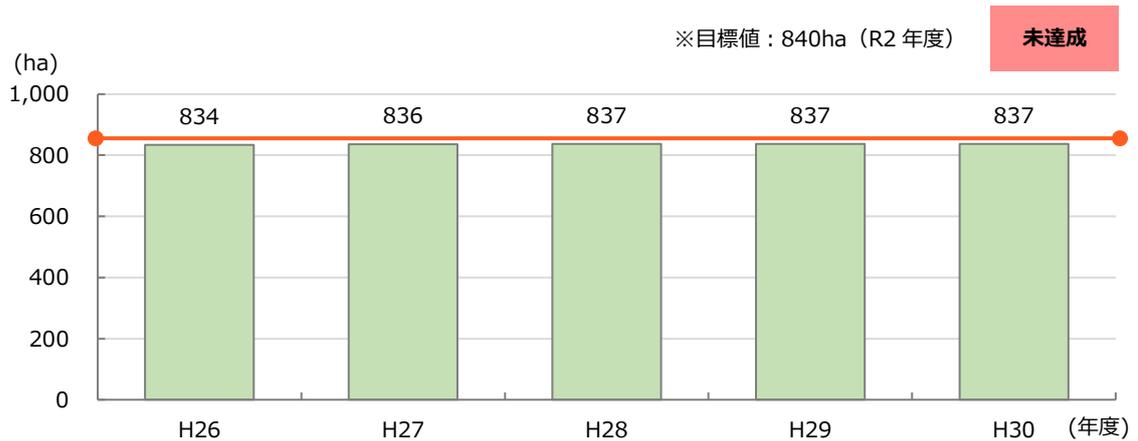


図 6：市有林面積の推移

出典：平成 30 年度～令和元年度 富良野市環境白書

④野生生物との共生と保護活動の推進

1) 野生鳥獣による農業被害

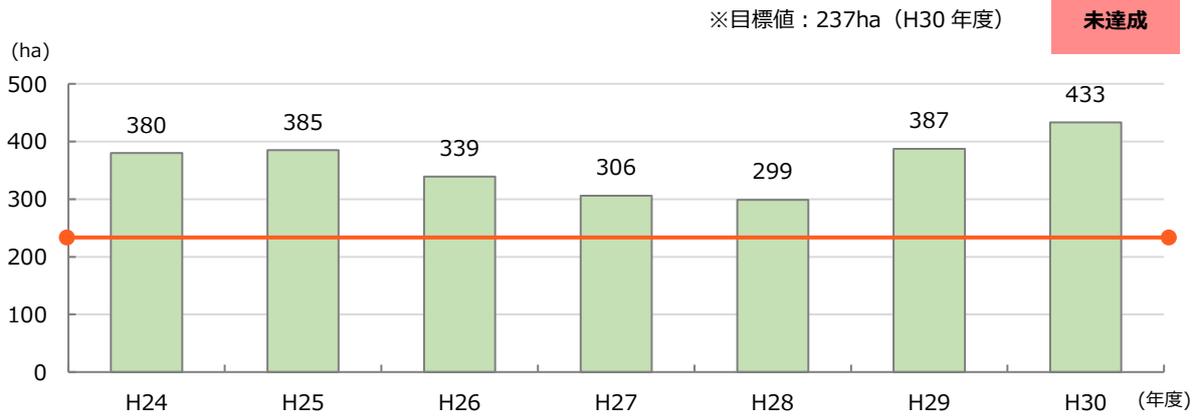


図 7：農業活動における被害面積の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

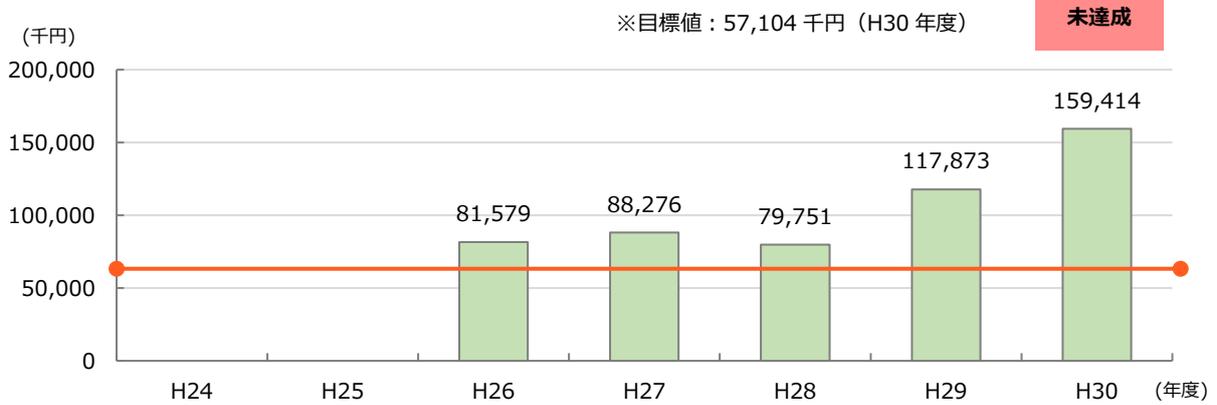


図 8：農業活動における被害額の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

(2) 循環型社会のまち

循環型社会のまちに関する項目の状況（平成 30 年度時点）については、以下のように整理できます。

- ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進について、「1 人 1 日当たりのごみ排出量」、「ごみの再資源化処理率」ともに目標に到達できていない状況となっています。
- 富良野市における 1 人 1 日当たりの排出量は、近年上昇傾向にあり、平成 24 年度は全国、全道と比べ非常に少ない状況でしたが、平成 30 年度には全国の値に近いところまでできています。
- 一般廃棄物のリサイクル率について、富良野市では、全国、全道と比べ 2 倍程度、高い状況で推移しています。

表 2：環境指標の推移と達成状況（循環型社会のまち）

		実績値										目標値・年		現状達成度	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(単位)			
⑤	ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進		866	885	881	875	887	899	912			829	R2年度	g/人・日	90.9%
	ごみの再資源化処理率		89.8%	89.7%	91.0%	90.6%	89.6%	89.3%	89.2%			95%	R2年度	%	93.9%

⑤ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進

1) ごみ排出量（一般廃棄物）と市民1人1日あたりの排出量

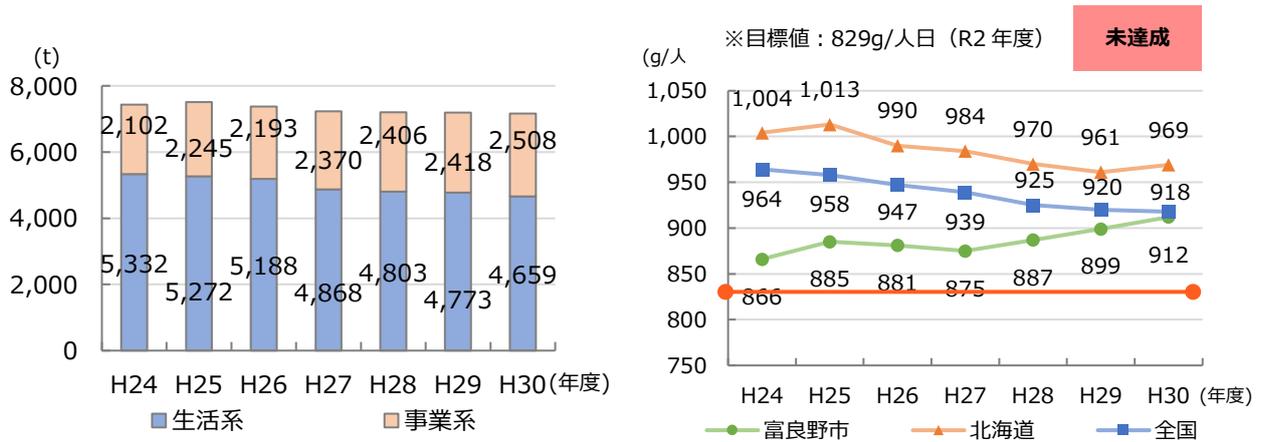


図9：ごみの排出量及び市民1人1日当たりの排出量の推移

出典：平成29年度～令和元年度 富良野市環境白書

2) 再資源化率

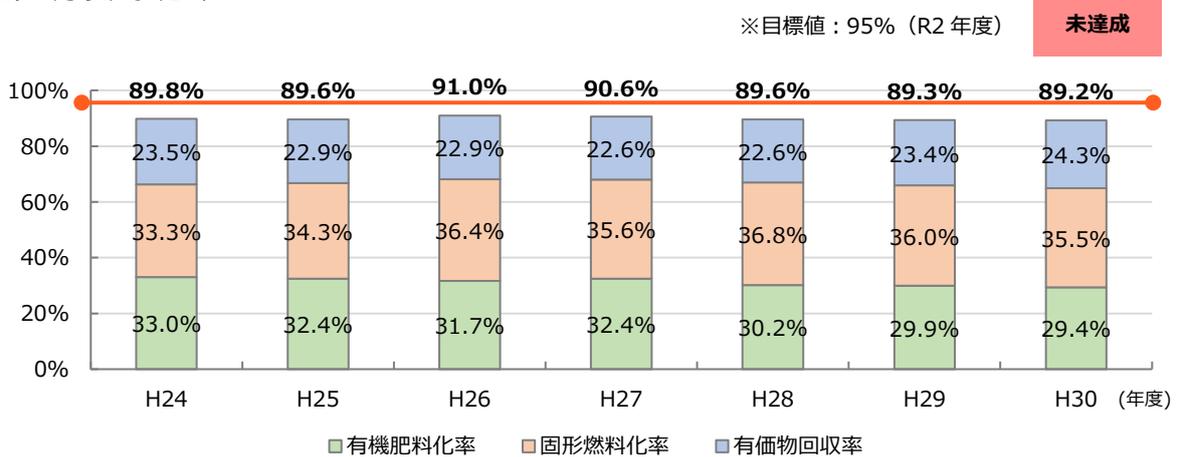


図10：ごみの再資源化率の推移

出典：廃棄物の処理及びリサイクル事業概要（令和2年度）（富良野市）

3) リサイクル率

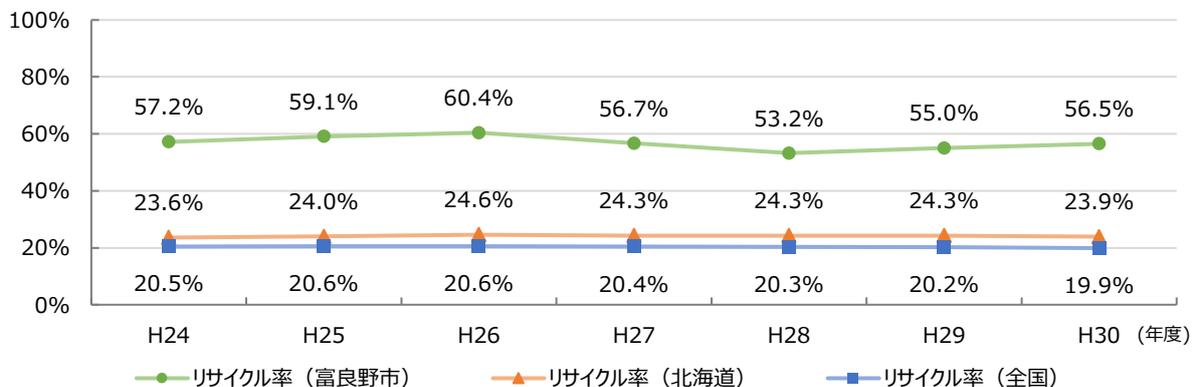


図11：リサイクル率の推移

出典：平成24年度～平成30年度 一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）

(3) 快適環境社会のまち

快適環境社会のまちに関する項目の状況（平成 30 年度時点）については、以下のように整理できます。

- 魅力ある森林・農村景観の保全と都市景観の形成について、「春秋の環境美化運動の参加団体数」は平成 30 年度で 126 団体と、目標の 200 団体に到達できていない状況です。
- 「公園施設修繕数」についても、平成 30 年度で 24 公園と、目標の 32 公園に到達できていない状況となっています。
- 大気環境基準、騒音に関する環境基準については、両項目ともに、目標を達成しています。

表 3：環境指標の推移と達成状況（快適環境社会のまち）

		実績値										目標値・年		現状達成度		
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(単位)				
⑥	魅力ある森林・農村景観の保全と都市景観の形成		151	141	146	141	141	125					200	R2年度	団体	62.5%
	公園施設修繕数				7	12	14	18	24				32	R2年度	公園	75.0%
⑦	良好な大気環境の維持					100%	100%	100%	100%				100%	R2年度まで 毎年度	%	100.0%
⑧	騒音・振動及び悪臭の防止		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%				100%	R2年度まで 毎年度	%	100.0%

※青=達成 赤=未達成

⑥魅力ある森林・農村景観の保全と都市景観の形成

1) 春秋の環境美化運動の参加団体数・参加人数

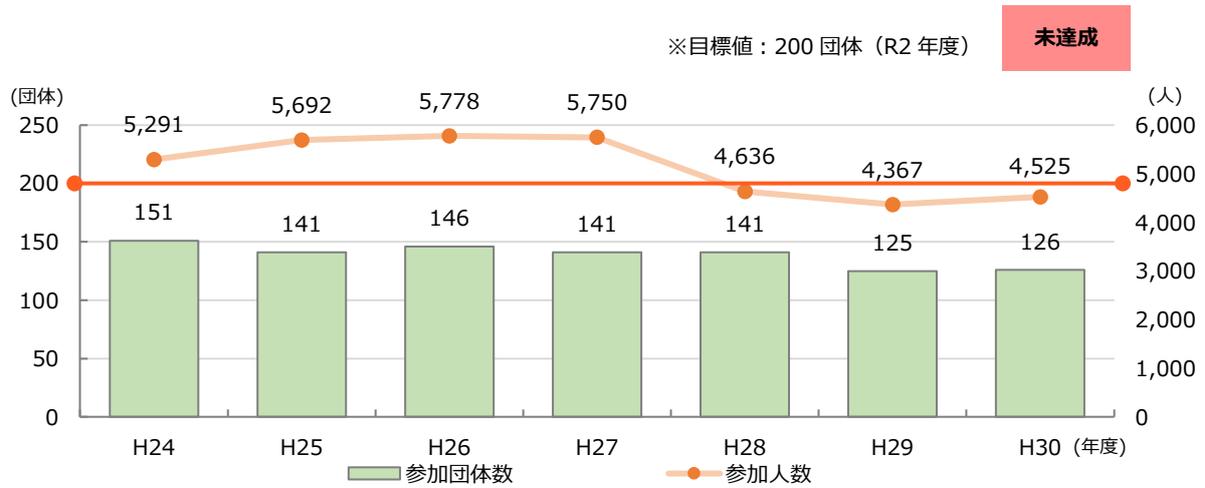


図 12：環境美化運動の参加団体数と参加人数の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

2) 公園修繕数

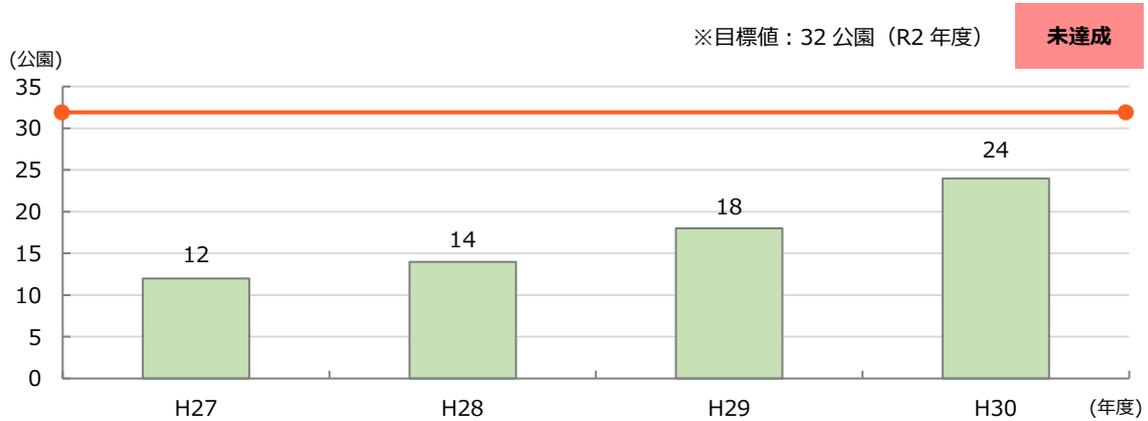


図 13：公園修繕数の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

⑦ 良好な大気環境の維持

1) アスベスト濃度基準達成率

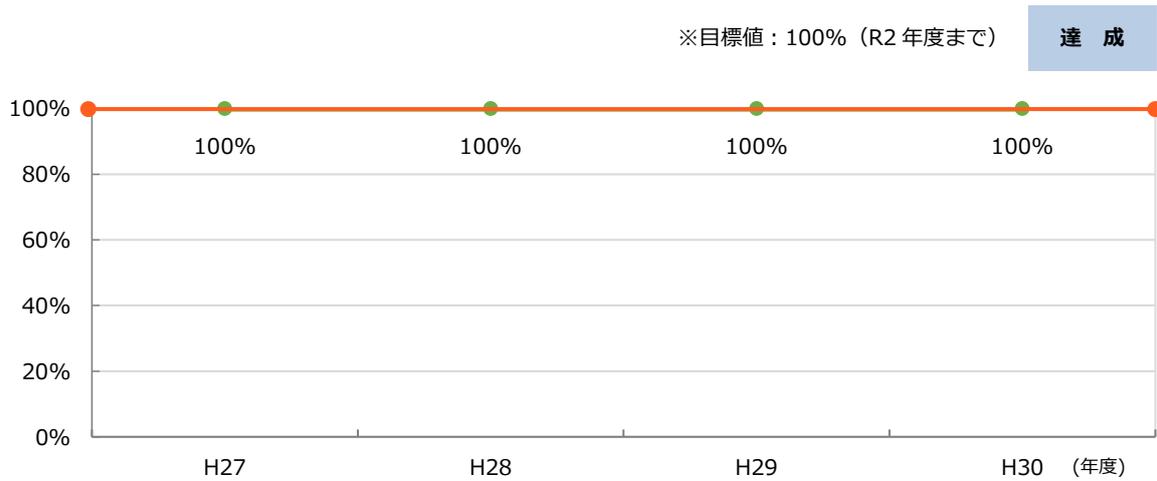


図 14：アスベスト濃度の基準達成率の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

⑧ 騒音・振動及び悪臭の防止

1) 自動車騒音

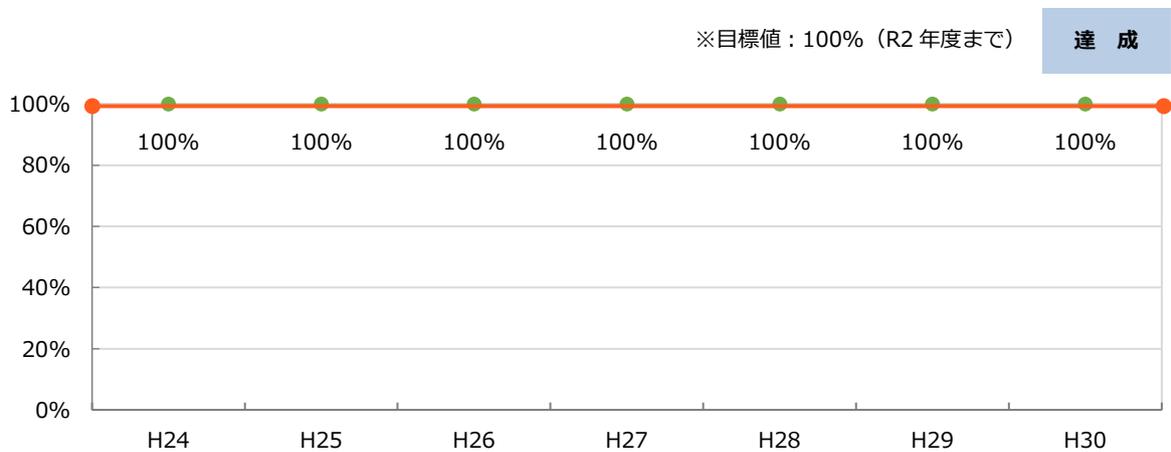


図 15：自動車騒音の基準達成率の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

(4) 低炭素社会のまち

低炭素社会のまちに関する項目の状況（平成 30 年度時点）については、以下のように整理できます。

○地球温暖化対策等の推進と実践について、「富良野市全体でのCO₂排出量（2005年（H17年）に対する削減割合）」、「1人あたりのCO₂排出量（2005年（H17年）に対する削減割合）」ともに目標を達成しています。

●資源・エネルギーの有効利用と実践については、「灯油由来のCO₂排出量」では目標を達成しているものの、「電気由来のCO₂排出量」、「重油由来のCO₂排出量」で目標が達成できていない状況です。

※「電気由来のCO₂排出量」について、電力使用量自体は低減しているものの、平成 24 年度以降、排出係数が大きく増加したことが大きく影響していると考えられます。

●市の補助を受けて導入された再生可能エネルギーについて、ペレットストーブは、平成 27 年ころまで増加傾向にありましたが、近年はほとんど動いていない状況といえます。太陽光発電についても、若干の導入はみられるものの、導入が進んでいない状況が伺えます。

表 4：環境指標の推移と達成状況（低炭素社会のまち）

		実績値										目標値・年		現状達成度			
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(単位)					
⑨ 地球温暖化対策等の推進と実践	富良野市全体でのCO ₂ 排出量	238	256	246	210	197	201							204	R2年度	千t-CO ₂	101.5%
	1人あたりのCO ₂ 排出量	10.1	10.9	10.6	9.1	8.7	9.0							9.5	R2年度	t-CO ₂	105.6%
⑩ 資源・エネルギーの有効利用と実践	富良野市全体での電力由来CO ₂ 排出量	70,225	98,305	96,750	93,633	90,094	-	-	-	-	-			63,506	R2年度	t-CO ₂ /年	70.5%
	富良野市全体での灯油由来CO ₂ 排出量	30,475	28,657	26,929	28,437	31,832	26,872							31,227	R2年度	t-CO ₂ /年	116.2%
	富良野市全体での重油由来CO ₂ 排出量	6,006	5,318	5,323	6,823	7,067	6,411							5,050	R2年度	t-CO ₂ /年	78.8%

※青=達成 赤=未達成

		H2	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(単位)		現状達成度	
区域施策編	温室効果ガス排出量の削減目標	208 (198)	246 (212)	210 (207)	197 (197)	201 (201)					156	R2年度 ※基準年(H2)から25%削減		千t-CO ₂

※ () の値は環境省の見直し後の公表値/R2.3に算定方法の見直しがあり

※青=達成 赤=未達成

⑨地球温暖化対策などの推進と実践

1) CO₂の排出量と市民1人あたりの排出量

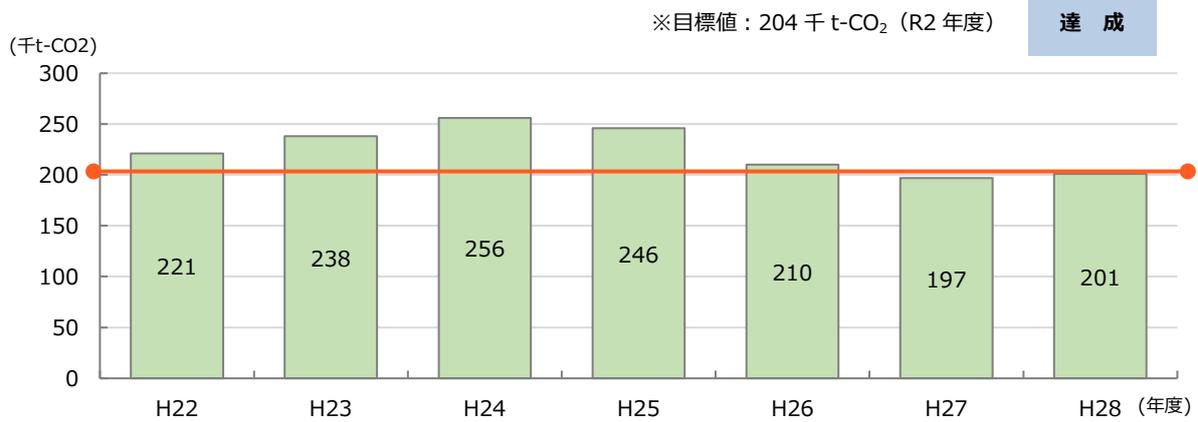


図 16：富良野市のCO₂排出量の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

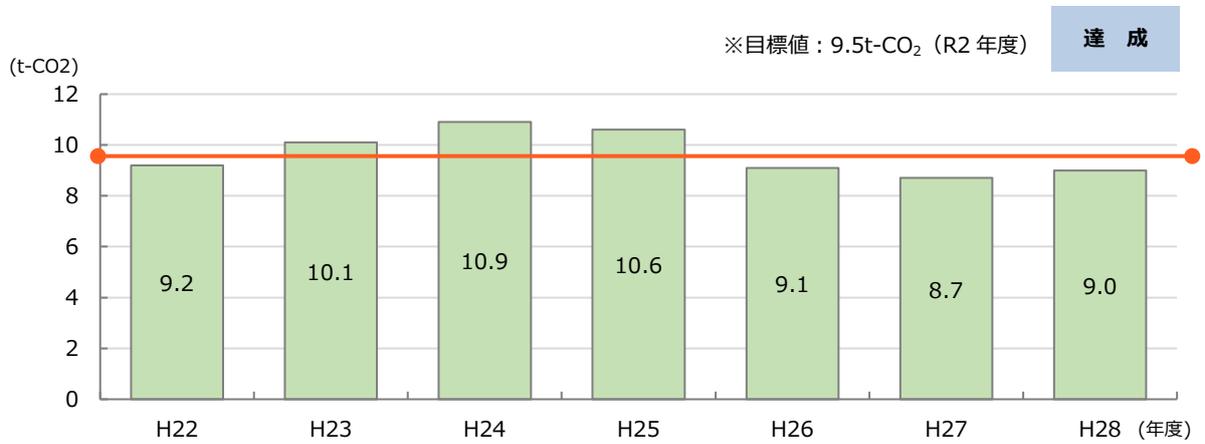


図 17：富良野市の1人あたりのCO₂排出量の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

⑩資源・エネルギーの有効利用と実践

1) 電力由来の電力使用量・CO₂排出量

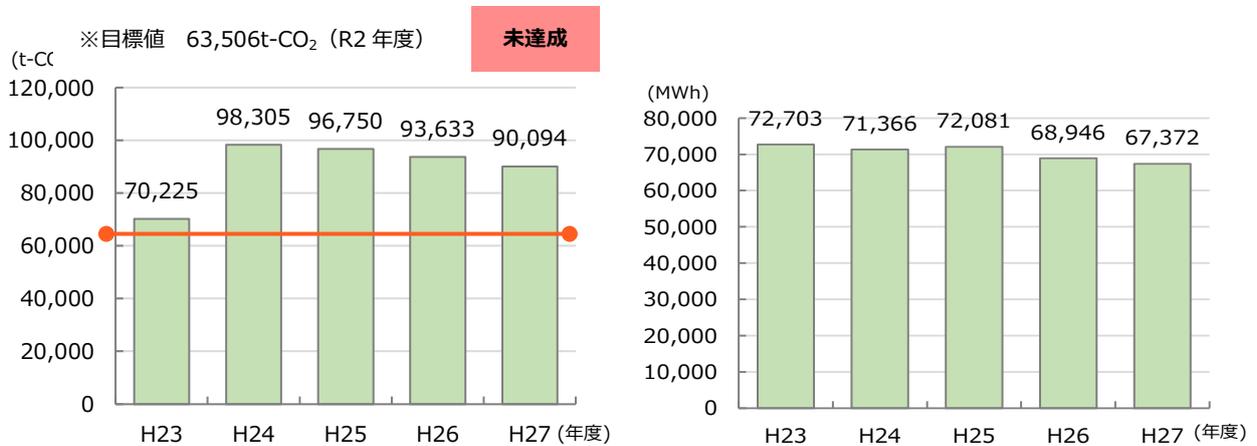


図 18：富良野市の電気由来CO₂排出量の推移

出典：令和元年度富良野市環境白書 P11

2) 灯油・重油由来の CO₂ 排出量

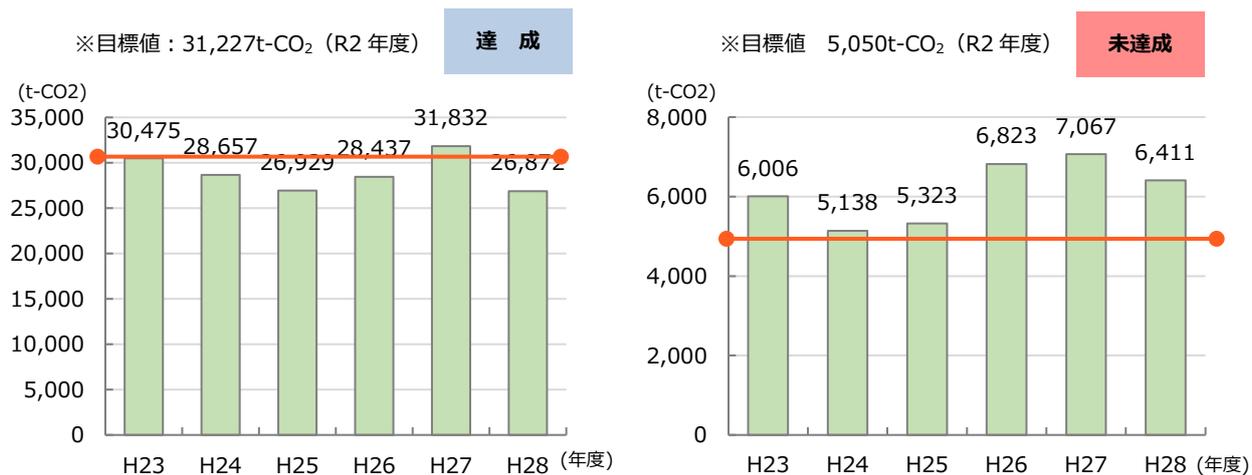


図 19：富良野市の灯油・重油由来 CO₂ 排出量の推移／灯油（左）・重油（右）

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書

3) 再生可能エネルギーの導入件数

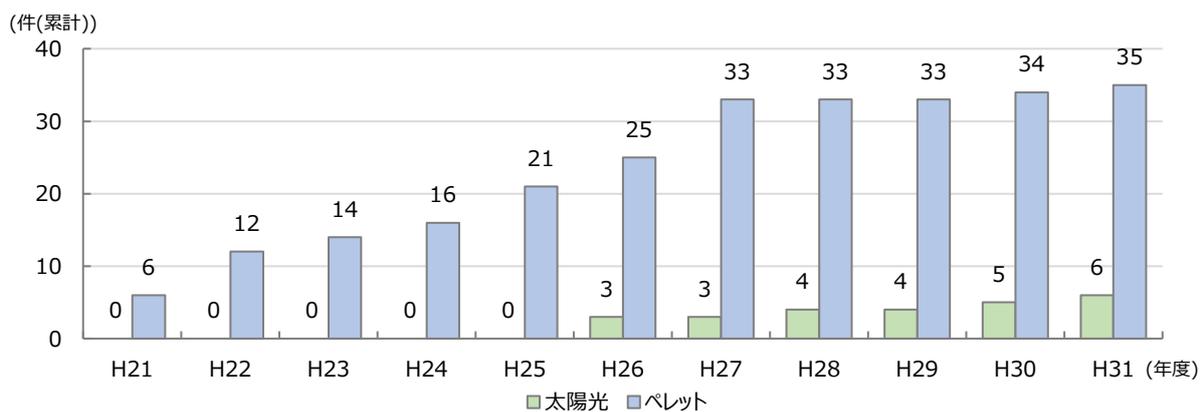


図 20：富良野市の補助を受けた再生可能エネルギーの導入件数（累計）の推移

出典：富良野市提供資料

(5) 活動・協働社会のまちづくり

活動・協働社会のまちづくりに関する項目の状況（平成 30 年度時点）については、以下のように整理できます。

- 幅広い世代への環境教育・環境学習の推進について、「森林学習プログラム参加校」は 7 校と、目標の 15 件に到達していない状況となっています。

表 5：環境指標の推移と達成状況（活動・協働社会のまちづくり）

		実績値										目標値・年		現状達成度	
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(単位)			
⑫	幅広い世代への環境教育・環境学習の推進				-	0	4	8	7			15	R2年度	校/年	46.7%

※青=達成 赤=未達成

⑫幅広い世代への環境教育・環境学習の推進

1) 森林学習プログラム参加校

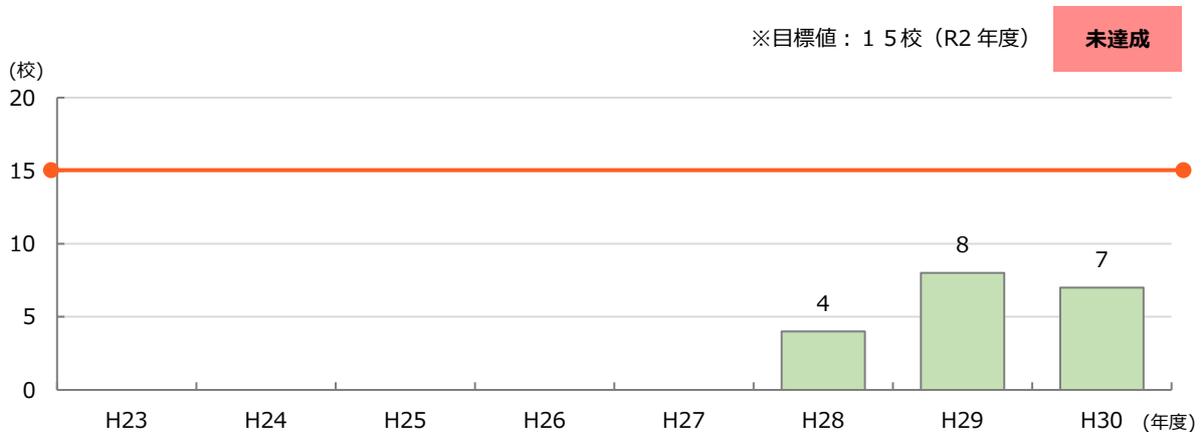


図 21：森林学習プログラム参加校の推移

出典：平成 29 年度～令和元年度 富良野市環境白書